

この度は 異文化キャラバン隊として参加させていただきありがとうございます。初めてこの秋祭りに参加して、たくさんの方が参加されていて、もっとたくさんの方に知ってもらいたいお祭りだと感じました。神社のお祭りで何かとしてはいけないことがあるところは悪いところではなく、日本の伝統として良いところだと思いました。留学生の人たちは、理解できないところがあったはずですが、私たちが日本人と真似して楽しむ様子を見ると、私自身も楽しかったし、神社の文化、祭りの文化を知ってもらえる方が嬉しいかなと思います。あれだけたくさんの方が海に入っていく光景は地元の人だけじゃなく、楽しむのは、もっといい気がします。私たちが、異文化キャラバン隊や留学生を文化を発信する者として、これからもボランティアとして参加させてほしいです。私自身、県外進学を考えていて、過疎化を加速させる一員になってしまうかもしれません。そのおかげに、日和佐や徳島の魅力を伝え、たくさんの方に少しでも関心をもってもらえるように活動していきたいです。これから、徳島市立高校の

生徒を異文化キャラバン隊として参加させてください。

今回は、和太鼓を温かく迎える参加をぜひお願いとう

えたいです。想像を超える熱気がぜひ楽しめたい

です。また参加をぜひお願いいたします。

掛け声と供に突き進め

HRNO

氏名

20

もう一度ボランティアに行きたいと思うことのできる内容であり、街でした。1日目はちょうさを引きたながら街を巡りました。「いっさんじゃい!」「さーせ、さーせ」の掛け声と供に街を巡るのはすく心が熱くなるものでした。打ち子の皆さんは目が覚めるような大きな掛け声と乱れぬ太鼓叩きを披露してくれて相当練習を積んだのだらうと感心しました。また、町の人々が作ってくれた差し入れが非常に美味しかったです。夜の祭りでは餅投げや屋台の見物をしました。僕はりんご飴を食べるのは初めてで友達に勧められて購入しましたが、表面を見た瞬間、普通の飴かなと思ったけれど、食べ進めると本物の飴が出てきたので驚きました。花火は噂に聞いていた通り、綺麗で近くで上がるので音が大きく迫力満点でした。満足して1日目を終え、2日目は遂にちょうさを担ぎます。中村町が7番太鼓として最初に披露してくれましたが、1トムのちょうさを持ち上げる姿には興奮を覚え、かつ自分にできるのかという不安も覚えました。おと西新町の出番が回って

きました。最初持ち上げた瞬間の印象はやはり重たいということです。しかし、掛け声を上げるうちに汗をかき、肩は痛く、辛いことは確かでしたが、だんだんと楽しいという気持ち湧き上がってきました。海に入ったちょうさは更に重くなりましたが、最後は気合いと根性、そして「さーせ、さーせ」の掛け声と共にちょうさを振り上げ、終わった後には達成感がありました。非常に楽しく、有意義な祭りでした。本、心配な点があります。それは僕たちが来た理由でもある、人手不足です。僕が運んだ西新町でも担ぎ手総勢約50人中、半分程が他の町からの手伝いでした。各町が助け合い、祭りを成功させる姿は素敵でした。しかし、町の個性が失われてしまうのではないかと懸念が僕にはあります。また、町全体の人手不足により祭りの実態が困難になるかもしれません。それを防ぐためにも、この祭りを広くに伝え、町を宣伝してほしいです。留学生や町の人とこんなに近くで関われる経験は僕は初めてでした。もっとたくさんの人に経験してほしいです。そして、この伝統ある祭りが更に続いていくことを願います。

文化の継承の重要性

HRNO

氏名

20:

昨年を引き続いて、今年も日和佐八幡神社秋季例大祭に参加させていただきました。昨年参加させていただいたとき、何かものが新鮮でわくわくしていたことを鮮明に覚えています。今年参加させてもらえることになり、もう一度あの環境の中でお祭りを味わえることに大きな喜びを感じていました。初日から5時間にかけてちょうさと共に町回りを行いました。日和佐の地域の方々には本当に親切で、人と人とのつながりの温かさというものを身に染みて感じました。皆で力を合わせて励まし合いながら町を回るのは、大変だけれど、とても有意義な時間を過ごすことができました。夜には神社の境内でお祭りを楽しみました。活気あふれる空間で友人たちと過ごした時間は僕の中での一生の宝物となりました。ホテルでは留学生の方々との交流の機会をもちことができ、とても良い経験ができました。2日目はいよいよちょうさを担いで海に入る日でした。台風の影響が心配されましたが、幸い天候に恵まれて無事に行うこと

ができました。いざ始まると、一斉に活気と熱気が我々を包み込みました。1年前の記憶がよみがえりました。波に流されるなどハプニングもありましたが、伝統を身近に感じることができ、とても幸せな気持ちになりました。

今、急速に少子高齢化が進行し、文化の継承が困難になりつつあります。その中で、この秋祭りのように素晴らしい文化をこれからも続けていくことは、社会生活にとっても良い影響を与えていこうと感じています。このような貴重な伝統の担い手を町内だけでなく町外からも集めることは、伝統を拡大していくことにつながっていくと思います。地域にしかない独自の 방법으로伝統をPRしていくことで、興味をもってもらうことが大切になってくるのではないかと考えています。今回、このように非常に有意義を作っていたこと、心から感謝申し上げます。徳島の日和佐にしかない貴重な体験をさせていただき、改めて「日和佐っていいな」と思いました。地域の方々の温かさに触れて心まで温かくなりました。この体験を友人や家族に自慢したいと思います。2日間、本当にありがとうございました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしております。

日和佐の秋祭りに参加して

HRNO 氏名

20

今日日和佐の秋祭りに参加して、想像以上の熱気に驚きました。かなり重いはりの神輿が、かけ声が一気に持ち上がるところで圧倒されました。

地域のお祭りにもよく行っていいなと私でも、今日参加してお祭りが住民の心か一つになることを感じ、自分の住んでいる地域でも同じような祭りが開催されるのがいいなと思いました。

しかし、これだけ祭りを盛り上げたいという思いがある、若者が減っていること開催が危ぶまれます。それだけ日和佐に限らず全国の問題になっていると思います。伝統に関しては、都市での流行しているものが主で、どこの地方も伝統を守っていく形になっています。しかし、その地方が若者不足で苦しんでいるところ、伝統文化を守ることにできないものではないかと不安になりました。少くとも、日和佐の秋祭りは地域のつながりより強く行政を担っているように思えたので、お祭りがなくならぬ、伝統が失われるだけなら、地域を結びつける力も失われていくのではないかと感じます。そのためには、地域の祭りを地域の村の中で捉えるのではなく、周辺地域、離れた都市、さらには海外からの人々との協力の中で作り上げていくことが大切になります。私たちがボランティアが祭りに参加するという取組には他の地方の祭りでも取り入れられる部分があると思います。

若者不足が困った状況下の若肉の策というよりも、これを機に
地域のつばかりを越えてさらけ出す地域との交流を拓いてい
けるように、今日のボランティアの強みがあると思います。秋祭りには
参加して、いろいろのことを考えさせられました。貴重な体験がた
また2日間続いた中で、日和佐の方々にとても感謝してい
ます。ありがとうございました。

今回の日和佐町での体験を通して多くのことを学ぶことができた。まず、1日目は女子は留学生と一緒に町まわりをした。私は今まで日和佐町に行ったことがなかったため、すべてが初めての体験だった。そこで感じたのは近隣の人との仲が深いということ。多くの人が家の外に出て、神輿を見ていた。町まわりの途中でフランス人の方が作ったという、築99年にもなる旅館にも訪れたが、私は築100年近くにもなる民家を見るのは初めての体験。ここでは日本家屋独特の落ち着いた雰囲気を感じることができたのでとても良かった。また、この町まわりを通して、留学生とも色々な会話をし、外国の文化も知ることができた。普段私たちが当たり前に思っているお祭りや日本の町並みは外国の人からすると、やはり違った文化なんだということを感じることができた。例えば、中国では温泉というものがなく、とても驚いた。その日の夜のお祭りは全力で楽しみ、その日あったことなどを一緒に話した。普段見ることができない、交遊の一面を見ることができた。

ので、とても素晴らしい思い出になった。

2日目は男子たちの大きな見せ場を見ることが出来た。神輿は思ったよりも重く、思ったよりも入勢でかつぐことを知ったときには驚いた。知合いや友達がかつぐのは6番目や7番目だったので、それまでは先に出発した人たちを見に行ったり、友達を応援したりして過ごした。順番がきて、神社や他の神輿のところにあつたのを始め、「さーせい」「いーさんじゃー」という掛け声とともに神輿を上げ下げして、男子たちはとてもかっこよく見えた。神輿をかついだまき海に入ったりするお祭りは初めてだったけどとても楽しいことができた。

2日間、留学生や友達と一緒に日和佐で過ごしたことは素晴らしい思い出となった。外国と日本の文化の違いはもちろん、徳島の中でも地域によって人とのつながりの深さが大きく異なる。これには実習を受けた。もし、またこのような機会があれば参加したいと思う。

地域のつながりの重要性

HRNO

氏名

20

私は今まで、徳島に住んでいるから、日和佐の秋祭りに行けたことがなく、祭り独特の空気や昔から伝わる伝統を初めて体験した。最初、町で運ばれるちやうさに遭遇した時、想像していたおもしろく本当に海に入るのか半信半疑だった。実際にちやうさが海に入り担ぎ手の下を必死につき進んでいるのを見て、非常に感動した。大勢で持っても重いはずなのに、担ぎ手の下は大声でか声を出しながら進んでいく。この祭りを成功させたという強い意志が、見ている私にも伝わり、私も一緒に運んでいるかのような気持ちになった。町一体がお祭りのために一丸となり、人々とのつながりの大切さを感じる事ができた。今、地域のつながりはどんどん希薄なものになっている。しかし日和佐では昔の日本のように地域が強く関わり合っている。日和佐町のような強いつながりをもっと他の地域ももってほしいと思った。日和佐の秋祭りに参加すること、学校では決して学ぶことができないことも学ぶことができた。日和佐町での経験をもとに、もう一度地域のつながり人々との関わりについて考えてみようと思った。

二日間の体験を終えて

HRNO

氏名

10

この度は、このような素晴らしい機会を設けて頂き
ありがとうございました。1日目の町廻りで、私は
本町のちよさだったのですが、本町のちよさも充
分重かったです。正直もっと軽いものだと思っていた
ので、最初に持ったとき驚きました。日和佐の町
の中には入ったことがなくて、(薬王寺にはほぼ毎年行
います)今回の町廻りではじめてだったのですが、服
屋やスーパー、オシャレな喫茶店もあって、時間があつ
た行きたいと思いました。町の人々は優しく接してくれま
した。2日目は朝から楽しみにしていました。全部のちよさが
神社の蔭に納められているのを見て、その多さに
驚きました。本町は後の方だったので、先に出る町
もずと見ていたのですが、どの町もとても迫力があ
り、かこいりて思いました。本町が出るときは、フワフワ
が止まらなかつたです。なるべく波が当たる位置に入って、持
ち上げようとしたら、重すぎて持ち上がりませんでした。町廻り
の台車がついていたのも重かったけど、その何倍も重かつたで
す。多勢の力があつても強い力になることが分かりました。

海に入るときは、全力で声を出して、走って、全身ビョウビョウした。

深いところは本当に定かたないし、海側だったので、波ももろに当たったけど、とても楽しかったです。

2日間しかない滞在でしたが、2日間ほどは充実していたと思

います。みこしを組んだり、そのまま海へ入ったり、留学生と布繋りに

行ったりと、全部が新しい体験でした。地元にはたの絶対の味

あつきの出来なかった経験をこの先、活かしていけたら

良いと思いました。

私は今回のとくしま異文化キャラバン隊に参加して、
良い経験をする事ができましたと思いました。例えば
今回の日和佐八幡神社の秋祭りを通していろいろな
学校の留学生の人たちと交流ができました、御輿を担ぐ
事ができましたからです。私は今回の祭りも異文化キャラバン
隊も参加するの初めでしたがさらに御輿が重く西新町で
不安でした。でも、地元の人や今までに参加したことがある
先輩がいろいろなことを教えてもらって楽しくすることがで
きました。そして一番心に残っているのは御輿を担い
て海の中に入るところです。最初は御輿が重く海の中に入
るのが怖かったです。でも、いざ海の中に入ると御輿が
さらに重くなったと思いました。とても楽しかったです。
そして次に心に残っているのは花火です。いろい
ろな種類の花火が多くあがってとてもきれいでした。
花火の最後に花火の発射台のところに「オワリ」となっていたとこ
ろが面白いと思いました。また来年もとくしま異文化キャラバン
隊に参加できるとしたら参加したいと思いました。そして
参加したときには今日よりも多く留学生と話したいと思

いきました

異文化村ラバに参加するのは、おもしろいと思う。海に入

り、この村に来た、7月、結構不安でした。

10月、町をまわるとお金を頂きました。

途中には、体験所がありました。町の人たちと親しく

食べ物や飲み物を渡していただきました。食べ物などは

おいしかったです。10月は歩き回って、少しきつ

かったです。夜には留学生の方々と夜に飲ん

で、一緒に遊んだ。一緒に遊んだ。中国人の方

と中国の食文化を教えてくださいました。勉強になりました。

その後、お祭りに行って、みんな楽しかったです。

舞台では、色んな出し物がありました。屋台と色んな種類

の屋台がありました。2月日は実際に遊びに行くと

海に入りました。自分も思った以上に波が強くて

と大変でした。でも、町の方や、一緒に参加し

た友達と、大声でかけ声がかけて、何か無事に

祭りを終えることができました。異文化村ラバ

に参加して、思ったことは、日本と他の町の人

と親しく接して、とても素敵だと感じました。

日和佐に行くのを決めた時は、外国人との交流などでは、それほど考えていませんでしたが、バスに乗る時に実感があいてきて、とてもおもしろかったです。バスの中では、あいさつだけして、ほとんど喋れず、日和佐に差いては、たことが少し残念だ、たと思いました。みとしをかついで町をまわった1日目では、外国人の方と協力してみとしをひいて、1日目で少しだけ親近感があきました。2日目の夜にご飯を一緒に席で食べた男性に、北條と僕のことを見て、「ふたごですか」と聞いてきて、互いに笑いながら「違いますよ」と言いました。そこで、外国人の方は、僕たちのことが似ているおれ見えているんだ。ということが分かりました。2日目、みとしを持ち上げた時、とても重くて驚きました。海に入った時は皆で助け合っていていい思いでかいておてよかったです。また来年も行きたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

私は今まで「白和佐八幡神社秋まつり」を知りませんでした。

ちうさを持ち上げて海へ入るといふことは行く前に聞いていました。

実際に見てみると思っていたよりも迫力があつてとても印象に残りま

した。女子はちうさを持ち上げることはできませんでしたが、見ていると後

たくなるような気持ちにもなりました。また、祭りが始まる前、男の人や

食べ物と配る女の人を見て、その地域の人たちの仲のよさが

伝わってきました。私は祭りに参加している間に写真を撮たくさん撮り

ました。その写真の中には頑張っている人、楽しんでいる人が

さまざまの人が写っていました。普段祭りに行くことが少しかつて

良い体験をすることができませんでした。秋祭りの前日にあつた町歩き

も良い体験だったと思います。留学生の人と話すこととセ美波町に

ついてを知ることができたりと、いつもからできなかったりしなかつたりす

るようなことができませんでした。私の近所には昔の家が並んであるよ

うな場所はありません。なのでその風景を撮った写真と家族に見せ

ると「いつか行ってみたい」という話になりました。この2日間のことを友達に

話しても「来年は行きたい」という人が何人かいました。

祭りに参加し、地域の人たちと外国人の人とも交流ができたのが

良い経験になったと思います。